

ENCORE システムのご提案

● ENCORE システム

ENCOREシステムとは、レイヤーという概念を持つ映像システムで、様々なレイヤーを組み合わせることにより、その瞬間、瞬間に合わせたシーンを作り出すことができます。

他にも、多画面制御ができ、それらをつなぎ目のない一つのスクリーンに組み合わせることで、シームレスな空間を作り出し、より一層、シーンの創生を演出します。

今や、世界中のありとあらゆるショーやコンベンション、コンサートなどで使われています。





ENCORE システム導入の流れ

1. スクリーンサイズの選定

次に、スクリーンに映し出したい、映像の種類を選定・確認いたします。
基本的には、本番時の進行や、主催者・講演者の方がお望みの素材に合わせたものにします。

例) PC、VTR、カメラ映像、看板、連絡事項など

まずは、ENCORE システムの基本となります、スクリーンのサイズを決めます。
会場のステージの大きさや、演出に合わせたスクリーンを選ぶことが重要です。
既存サイズの縦横比 4:3 や 16:9 サイズも可能ですが、より演出面を重視される
のであれば、ステージ間口の大きさに近いサイズのスクリーンをお勧めいたします。

例)

4:3

16:9

4:1

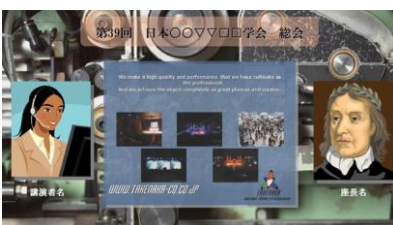
2. 素材の選定・確認

ENCORE システム導入の流れ

3. 画面レイアウト

1. と 2. が決まりましたら、それを基にレイアウトを決めていきます。
 ここでは、本番時の進行の流れに沿ったものを作っていきます。
 バックグラウンドの画を変化させることで、様々なシーンを創生いたします。
 1、2 週間前に事前にある程度の打ち合わせ、作り込みが必要となります。
 終的には、当日リハーサルを経て環境に合わせたレイアウトを確定いたします。

例)



● 学会会議などに於ける基本レイアウト例

・講演時 A



講演者 LIVE

催事タイトル

座長 LIVE



講演者名

座長名

講演者名

講演者 PPT

講演者名

● 学会会議などに於ける基本レイアウト例

・講演時 B



講演者 LIVE

催事タイトル

講演タイトル PPT



講演者名

講演者 PPT

インフォメーション用サイド PPT

講演者名

● 学術会議などに於ける基本レイアウト例
・質疑応答時 A



講演者 LIVE

座長 LIVE

※場合によっては、質問者の方との切り替えも可能です。

● 学術会議などに於ける基本レイアウト例
・質疑応答時 B



講演タイトル PPT



講演者 LIVE

座長 LIVE

インフォ用 PPT

● 学術会議などに於ける基本レイアウト例

※場合によっては、質問者の方との切り替えも可能です。
・催事タイトル



・OP_VTR など



● 学術会議などに於ける基本レイアウト例

※ スクリーン全体使用することで、迫力の
OP_VTR を見せることができます。

● 後に

これまで述べて参りましたように、ENCORE システムを使用することで、従来のものとは違う世界を表現することができます。

ENCORE システムはシーンを作り出すシステムです。

ステージ間口いっぱいのサイズで、このシステムを使用すれば、映像を換えるだけで、全く違うシーンを一瞬の内に見せることができ、舞台セットに依存することがなく、その時々に合わせて、表現をすることが可能です。

レイヤーシステムを採用しているおかげで、一つの画面上に多くの情報を持たすことができ、それらを 適なサイズ・位置に配置いたしますので、見る者に常に驚きを与え、飽きさせることはありません。

また、その都度ごとに合わせた OP_VTR も制作しております。もちろん、変則的なサイズのスクリーンにも対応いたします。

● 弊社での使用事例

■某企業の世界大会（2007年12月上旬開催）特注十字型スクリーン使用。W:18,000mm×H:9,000mm の十字型。十字の中を下記のそれぞれのスクリーンを想定し映像を投影しました。

スクリーンイメージ



● 弊社での使用事例

■ TAKENAKA Image Presentation 2008 (2008 年 8 月 4 日～7 日開催)

1階ロビー部に7mを超えるスクリーンを縦向きに設置。

2階部分までの吹き抜け空間を考慮し、1階の方からも、2階の方からも内容が確認できるようにいたしました。

講演 PPT

<プランニング素案>

講演者 LIVE

<実際の写真>



催事タイトル

講演 PPT

催事キャッチコピー



● その他ご提案①

■ 中継システム

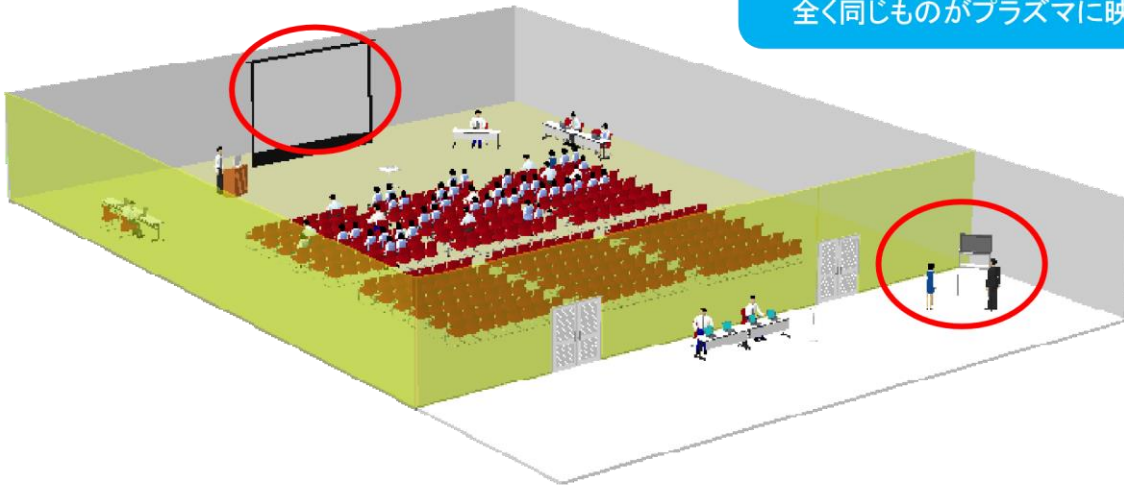
主要な口演の映像、音声を、複数の他会場にも中継するシステムです。

□一つの公演を複数の会場に配信できます。

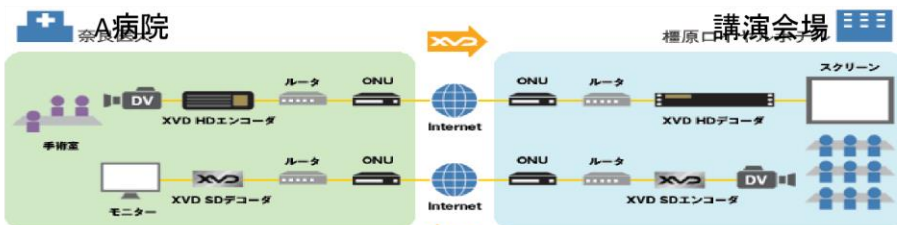
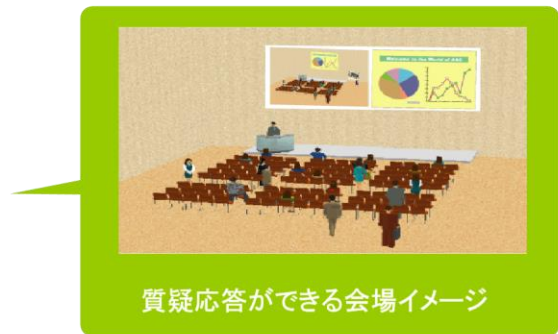
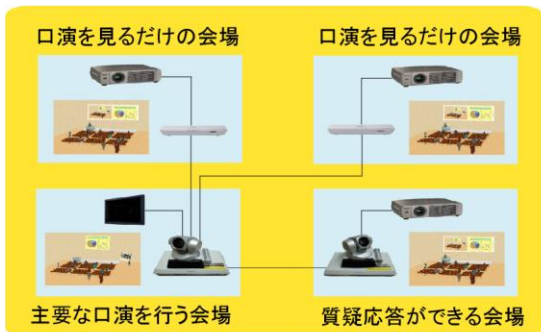
□会場のセッティング変更する事なく多様なシーンを作り出せます。

□会場を移動せずに主要な公演を観覧していただけます。

会場付近にプラズマを設置することによって
会場のスクリーンに映っているものと
全く同じものがプラズマに映し出されます



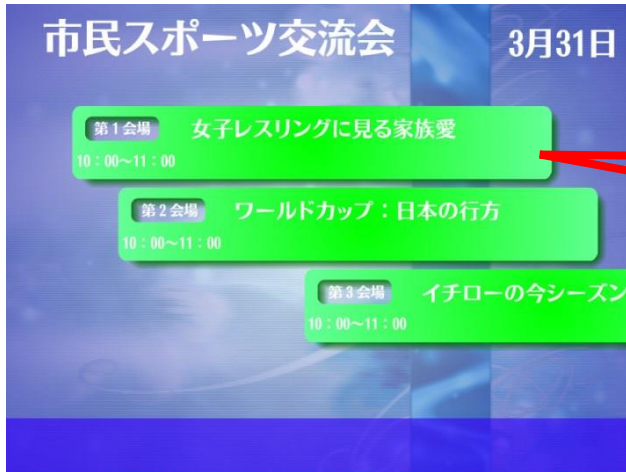
会館内もしくは、仮設でLANのネットワークを
組むことにより離れている会場からでも
中継を可能とします。



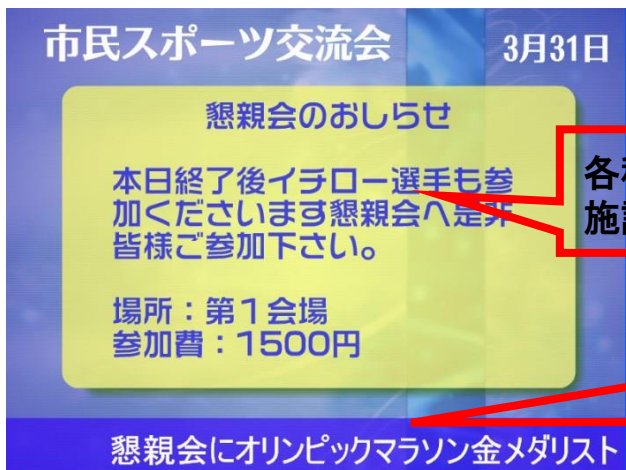
● その他ご提案③

■ インフォメーションシステム

リアルタイム情報を視覚に訴えます



当日のスケジュールを表示します。



各種会合情報・交通情報・天気情報・施設情報などを1枚の看板形式で表示します。

緊急呼び出し・変更などリアルタイムで情報を文字情報として流すことができます。



Shaping Your Image



☐ 大阪本社	〒552-0021 大阪府大阪市港区築港3-1-43 天保山シンユニティビル	TEL 06-7174-8989(代表) FAX 06-6571-5132
☐ 東京支店	〒135-0045 東京都江東区古石場3-1-5	TEL 03-5639-1670(代表) FAX 03-5639-1688
☐ 名古屋営業所	〒454-0013 愛知県名古屋市中川区八熊3-20-12	TEL 052-324-5665(代表) FAX 052-324-5667
☐ 京都営業所	〒612-8497 京都府京都市伏見区下鳥羽北円面田町90	TEL 075-604-5430(代表) FAX 075-604-5440
☐ 大阪上六事業所	〒543-0002 大阪府大阪市天王寺区上汐4-5-5	TEL 06-7174-8989(代表) FAX 06-4305-0709
☐ 大阪東ハードセンター	〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中3-5-2	TEL 06-6787-8600(代表) FAX 06-6787-6780
☐ タケナカ北京（現地社名:北京創想五州会展服務有限公司）		